

## 平成16年度山口大学工学部との技術職員合同研修に出席して

技術センター 工学部等部門

京泉 敬太・田邊 邦昭・山本 博・藤枝 洋二・下川 久義・土橋 誠

### 1. はじめに

平成16年4月より国立大学が国立大学法人となり、それに伴い広島大学も大幅な組織改革が実施された。

今回の国立大学法人化に伴い高度化・多様化する技術支援ニーズに応え、全学管理運営に則し、全学的な組織（技術センター）に構築され、われわれ技術職員の技術力が大学の教育・研究を支える技術支援を計画的・効率的に実行しなければならない。

そこで今回、法人化後の技術センターの果たすべき使命及び業務・管理・運営というテーマのもとに、情報交換を行い、今後の業務遂行に生かすべく技術職員合同研修会に参加した。

### 2. 期間・場所

期間：平成17年3月7日（月）

～平成17年3月8日（火）

場所：山口大学工学部

### 3. 参加者

広島大学技術センター工学部等部門7名

山口大学工学部技術部（技術長（技術専門員）1名、技術班長（技術専門員又は技術専門職員）4名

### 4. 研修内容

1日目 3月7日

1) 山口大学工学部技術部の概要

山口大学工学部技術部技術長による山口大学工学部と山口大学工学部技術部の概要の解説。

2) 山口大学工学部技術部各班の業務内容紹介

各班長4名による業務の説明

3) 広島大学技術センターの概要説明

4) 広島大学安全衛生管理の概要説明

5) 自己紹介と各自業務概要説明（広島大学技術センター職員）

6) 質疑応答

2日目 3月8日

1) 山口大学工学部 施設見学

山口大学工学部技術長の案内により、各施設を見学する。



(山口大学工学部)



(技術部室内)



(実験室)



(工作室)

5. まとめ

今回、山口大学の技術系職員と情報交換する機会をいただきまして、今後の業務に参考となる情報を得ることができました。

意見交換の中で、山口大学工学部技術部では、しっかりと自分の職業を把握しており研究室だけに縛られず色々な場所で自分の技術を発揮しているという感じを受けました。技術部では、講座、学科、専攻、工学部附属教育研究施設、各種委員会、事務部並びに各部局から技術支援依頼を受け、教育・研究に関する技術支援業務を行なう方式を採用しておりました。



(技術部プロジェクトによる情報ボックス)

山口大学工学部では、技術部によるプロジェクトを立ち上げ写真のように教員室の場所を検索できるインフォメーション端末を製作されていました。この端末は、数台設置されておりプログラムの作成は、電子・電気系の技術員が作成され、端末のボックスなどは工作系の技術員が作成されたとのことです。まさに技術職員が協力してできた物だと思います。

今回の研修において、山口大学工学部技術部では、技術部全体で業務に前向きに取り組んでいることを強く感じました。

また、月に1回は技術職員全員参加の技術部会議を行い、お互いのコミュニケーションを欠かさないとのことでした。通常の業務において顔を合わせる機会が少ない職場では大切なことだと思います。

地理的に技術職員が会う機会の少ない広島大学技術センターでもお互いのコミュニケーションを計り、情報の伝達、技術の習得が出来るようになればと思っております。